

科目名	精神保健看護学演習 Psychiatric and Mental Health Nursing Seminar
授業形態	講義(20%)・演習(80%)
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	秋学期 ABC 応談
単位数	2単位
担当教員名	森 千鶴 Mori Chizuru 菅谷智一 Sugaya Tomokazu  非常勤講師:石川博康 Ishikawa Hiroyasu
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	4B棟502室 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること mori@md.tsukuba.ac.jp
授業の到達目標(学習成果)	(1)精神科薬物療法の概要と実際について説明できる (2)精神科薬物療法の実際事例を考察し、今後の課題を述べるができる (3)精神力動的介入、行動療法、認知行動療法、SST,心理教育、危機介入、集団精神療法の技法について説明できる (4)上記(3)の援助技法を用いた事例を考察し、援助技法の活用について述べるができる (5)看護介入に関する諸理論と方法について説明できる (6)看護介入の諸理論と方法に関する文献を系統的に熟読し、論理的にまとめてプレゼンテーションできる (7)上記(6)のプレゼンテーションについて科学的論理的な視点から討議できる (8)看護介入の諸理論と方法について事例を用いて説明できる (9)討議やプレゼンテーションを通して、精神看護の高度な実践を行う上での課題や方向性を述べるができる
他の授業科目との関連	精神看護専門看護師養成課程履修希望者、精神看護学分野で看護科学特別研究を受講する者は必修
履修条件	なし
授業概要	精神的な問題を抱えた人とその家族に対して、専門性の高い精神看護を展開する上で必要な精神領域の治療に関する理論と方法、対象者と家族に介入するための理論と方法を習得する
キーワード	精神看護実践、薬物療法、心理教育、認知行動療法
授業計画	プリントを配布し、それに沿って進める。演習の時間を設ける。 1(精神保健看護学演習概説、精神科治療技法概説) (森 千鶴) 2(精神科治療技法:精神科薬物療法の実際) (森 千鶴) 3(精神科治療技法:行動療法、精神力動的介入の実際) (森 千鶴) 4(精神科治療技法:認知行動療法の実際) (森 千鶴) 5(精神科治療技法:SST,心理教育の実際) (森 千鶴) 6(精神科治療技法:集団精神療法の実際、危機介入の実際) (菅谷智一) 7(セルフケア理論に基づく看護介入) (森 千鶴) 8(対人関係理論に基づく看護介入) (菅谷智一) 9(精神科ケースマネジメント理論と介入) (石川博康) 10(精神科チーム医療の展開) (石川博泰)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義(20%)と演習(80%)を併用する  課題学習を行う。課題は概説の時に説明する

成績評価方法	<p>2/3以上の出席を以て単位取得の要件とする  課題学習に対するプレゼンテーションと資料を以て評価をする  評価基準：  A+ 対象者になされている治療を踏まえ、対象者と家族に対して科学的根拠のある看護介入方法を決定するプロセスについて述べるができる  A 対象者になされている治療をふまえ、対象者とその家族に対する看護介入方法について述べるができる  B 対象者になされている治療を理解し、対象者への看護介入方法について述べるができる  C 対象者になされている治療の意味、必要な看護介入を説明できる  D 対象者になされている治療の意味、必要な看護に就いて説明できない</p>
教材・参考文献・配布資料等	
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	<p>エビデンスの高い論文を読み、論理的にまとめた上でプレゼンテーションを行う  精神看護専門看護師養成課程履修希望者、精神看護学領域で看護科学特別研究を実施する学生が受講する。自ら積極的に学び、科学的、論理的な視点を持って討議に</p>